

口腔ケアは飛沫との接触が多い行為ですが、お口の健康を保つために必要なものです。
適切な感染防御を行い、ケアの方法や環境を工夫しましょう。

口腔ケアを行う上での感染予防対策の基本

1. 口腔ケアを行う前に

- ①手指の手洗い、消毒を行いましょ。手洗いの際は、腕まで洗い、口腔ケア後の手洗いも忘れずにしましょ。
- ②マスク、グローブ、エプロン・ガウン、ゴーグル・フェイスシールド等の個人防護具を着用しましょ。
 - ・マスクは、鼻の上からから顎の下までしっかり覆います。

マスクと鼻の間に隙間がある



マスクと鼻の間に隙間がない

2. 口腔ケアを行う時のポイント

- ①口腔ケアを受ける人や口腔ケアを待つ人が一つの部屋に集まった状態で口腔ケアを行わない。⇒可能なら個別でケアを行います。
- ②口腔ケアを行う人は対象者の顔に近づかない。(対象者：口腔ケアを受ける人)
 - ・対象者がイスに座っている場合
対象者の後ろに回ってケアを行う。
のぞきこんでケアを行わない。 } 右図を参照
 - ・対象者が寝た姿勢の場合
ベッドの高さ、上体の角度を調節し、
対象者からなるべく距離をとるようにします。
(障害をお持ちの方、要介護高齢者への口腔ケアのポイント、「7. 介助が必要な方の口腔ケア時の姿勢」参考)
- ③口腔ケアを受けている人の対面に口腔ケアを待つ人を座らせない。また、距離を開けて待ちます。
- ④ケアを行う時は、必ず窓かドアを開けて換気します。



3. 口腔ケア後の注意点

- ・個人防護具は、周囲を汚染しないように、ケアが終わったらすぐに外し、利用者ごとに交換します。
- ・脱衣の際は、個人防護具の表面に触れないように注意しましょ。

(「障害福祉サービス施設・事業所職員のための感染対策マニュアル(2020. 12)」参考)

【発行】さいたま市口腔保健支援センター(さいたま市役所 健康増進課)TEL 048-829-1294 FAX 048-829-1967

施設での口腔ケアの実施状況に関するアンケート（令和2年9月）で多数いただいた感染症対策に関する質問とその回答を以下にまとめました。参考にしてください。

口腔ケアを行う上での感染予防対策

Q1. 利用者の歯ブラシの清掃、消毒、保管方法について教えてください。

A1.

①歯ブラシは使用后、流水下でよく洗いましょう。

②毛先は、よく乾燥させましょう。

水をよくきって、風通しの良い場所で、毛先を上にして、各自のコップに保管します。

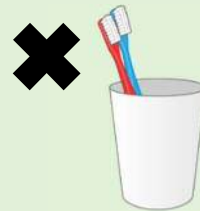
③歯ブラシの消毒は、必要ありません。

熱湯を使うと歯ブラシが変形します。歯ブラシは月に1回程度、取り替えましょう。

☆感染予防のために

①歯ブラシが触れ合うと感染リスクが高くなるため距離をおいて保管します。

②複数の歯ブラシをまとめて洗うなどは避けましょう。



歯ブラシは一本ずつ保管しましょう。

Q2. 新型コロナウイルス感染症予防対策を行った上での口腔ケア方法について教えてください。

A2. 歯磨き時は唾液の飛沫が飛んでしまいます。新型コロナウイルスに感染している人では唾液中にもウイルスが混入していることが分かっています。したがって、感染予防としては唾液に他の人が接触したり、飛沫を吸い込んだりしないよう注意する必要があります。

例えば、①他の人と歯みがきのタイミングをずらす。

②歯みがき時は周りに飛散ないようにやさしく丁寧に磨く。

③歯みがきをする場所の換気をよくする。

④うがいはしぶきが飛ばないように、できるだけ低い位置でゆっくり吐きだす。

術者は、歯みがき前後には必ず手を洗い、マスク、グローブ、エプロン・ガウン、ゴーグル・フェイスシールド等を使用しましょう。



参考文献：東京医科歯科大学ホームページ：新型コロナウイルス感染予防と歯みがき(2020.4.23)

東京都学校歯科医会：新型コロナウイルス感染予防のための給食後の歯みがき Q&A(2020.7.1)

厚生労働省：障害福祉サービス施設・事業所職員のための感染対策マニュアル(2020. 12)